



第57回運営推進会議

グループホームつながり

登録数18名

男性 7名

女性 11名

令和 4年	11月	
	前回推進会議時	現在状況
要支援 2	0	0
要介護 1	4	4
要介護 2	5	6
要介護 3	2	2
要介護 4	6	6
要介護 5	1	0
申請中	0	0
合計	18	18

平均介護度
2.6

日々の活動報告

4月・5月

バイタル測定

散歩

病院往診・受診

創作活動

洗濯物干し

訪問歯科

入浴

洗濯物たたみ

訪問リハビリ

ラジオ体操

調理補助

訪問理容

口腔体操

食器拭き

お花見

カラオケ

居室・フロア清掃

端午の節句

5月の職員研修

非常災害時の対応

火災対策について

- 消防計画の作成と周知されていますか？
- 防火管理責任者は誰ですか？
- 防災教育の実施は？
- 消火訓練・通報訓練・避難訓練の実施は？
- 消防用設備の法定点検は？
 - 消火器・誘導灯・避難器具・自動火災報知設備・
 - 火災通報装置の点検
 - 消防署長宛に報告

総合訓練

★訓練のポイント

一連の訓練のまとめをしよう！



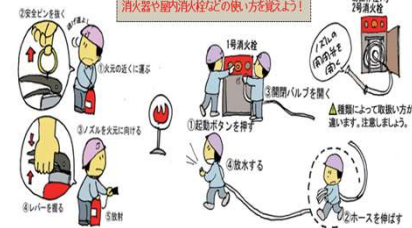
通報・伝達訓練

★訓練のポイント 相手にしっかり伝えよう！



消火訓練

★訓練のポイント
消火器や屋内消火栓などの使い方を覚えよう！



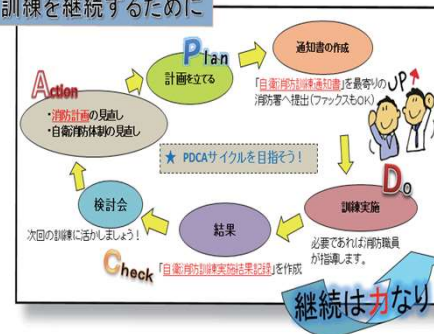
避難訓練

★訓練のポイント 避難者へ適切な声をかけよう！

出火場所を変えて避難誘導してみましょう。



訓練を継続するために



火災時はこんなことに気をつけて

- 消火器での初期消火は、吹き返しや燃えているものが飛び散ることがあるので注意!
- 燃えているところに近づきすぎず、適切な距離を保ち初期消火!
- 煙は、熱気や有毒な成分を含んでいるので、注意!
- 避難路を確保し、「出火室内が燃え広がっている」や「天井などに火炎が達して燃え広がっている」状態では、無理せずに避難!
- 初期消火は、「ぬれた衣類等をかける」、「寝具等をかける」、「ビニールホースで水道水をかける」、「ふたをして消す」等をするのではなく、適切な消火器具、消火設備を使う!

自然災害への対応

- 夜間や豪雨時では施設内での一時避難場所が重要
- 日頃からの点検(土砂崩れ等危険地域の把握)が必要
- 責任者が速やかに判断するための情報収集の整備が必要(行政からの情報提供)
- 関係機関との連携体制を整備
- 備蓄・発電機等、普段からの備えが重要

自然災害時の避難

- 介護保険施設は福祉避難所となる
- グループホームや小規模多機能は福祉避難所扱いにはならない
- 災害時は皆、ストレスを抱えての生活となる
- 一般の避難所での生活は高齢者には厳しい
- 認知症高齢者は一般の人と同じ避難所での生活は困難

避難所での認知症の人や 高齢者の健康管理

食事について

避難所では、十分な栄養状態を保つことができる食事は用意ができません。東日本大震災では乾パンやおにぎり程度しかなく、高齢者にとっては、飲み込むことが難しい食品がほとんどです。果物や缶詰など水分の含まれたものがある場合には優先的に高齢者に行き渡るようにしてください。



細かく刻むなどして食べやすい食事を用意しましょう。
サプリメントも積極的に活用しましょう。

誤嚥に
注意しましょう。

水分摂取について



水が止まるとトイレが流せなくなります。トイレに行くことを遠慮して水分を減らすのではなく、一日1リットル以上は水分を補給しましょう。水分不足が便秘を引き起こしたり、エコノミー症候群を誘発したりすることがあります。

トイレを気にせず使えるように配慮
しましょう。

専用トイレスペースの
確保

高血圧の方への注意

避難所では治療薬を持たないで避難しなければならないこともあります。血圧をあげてしまうような、菓子やインスタント麺はできるだけ控えましょう。

好ましい食品



アルファ化米 乾パン

控えた方がよい食品



菓子類

糖尿病の方への注意

避難所にはお菓子やインスタント麺などの塩分が高く、高エネルギーな食品が多く届けられます。糖尿病の方には、低エネルギーの食品や、低血糖をコントロールするためのアメなどの準備が必要です。また、食事の時間も出来るだけ規則的になるように心がけてください。

食事の時間を規則的にしましょう。
菓子などの栄養の偏った食品は
避けましょう。

認知症の人の避難所生活を支えるためのポイント

- ① 住民の理解と協力
- ② 個室や専用のスペースを用意(段ボールで囲うなど)
- ③ 専用または優先のトイレの確保
- ④ 専門スタッフの協力
- ⑤ 顔見知りやなじみの人が近くにいること
- ⑥ 介護する家族も支援
- ⑦ 福祉避難所や介護施設など、次に移る準備を



(認知症介護研究研修仙台センターの資料をもとに作成)

気づき・アクシデント

4月・5月

・ アクシデント 5件

内容: N・K 様 5月17日(月) PM

ベッド上での食事介助を終え、口腔ケアを行う。
スポンジブラシを右奥に入れた際に右側の上唇を噛んでしまわれる。
出血見られたため処置し、出血が止まるのを確認後軟膏を塗布。

・ 気づき 21件

内容: M・K 様 4月9日(日) PM 12:35

食事の際使用したティッシュペーパーを丸めて口の中へ入れようとされる。
職員が気づき声掛けし、預かり処分する。

内容: M・H 様 5月27日(土) PM 2:05

居室より荷物を両手に持ち、外へ行こうとされる。職員声掛けで居室へ戻られる。



グループホームつながり
☎ 055-970-2938